

# ことばの向こうがわ

## 震災の影 仮設の声

あべ ちかい  
**安部智海 著**

▼四六判並製カバー装・三四頁本体・一、一〇〇円十税

東日本大震災後、被災地で行われてきた「仮設住宅居室訪問活動」の様子を情感豊かな文章と多彩なエピソードで綴る。

苦悩に向き合う、「支援」のかたちを考える一冊。

ボランティア、カウンセラー、臨床心理士、教師、宗教者、その他、心の問題と向き合う方、必読！



2017年3月刊行

### 【目次】

はじめに  
プロローグ

#### 第一章 大災害のあとで

死にたい気持ち 居室訪問活動という支援  
はじめての仮設訪問 避難所でのこと  
閑上の悲劇 くらべられない悲しみ

#### 第二章 仮設に住む

亡き方の声 同じ空を見上げる  
ひとりじゃない 仮設に根づく  
人間関係のなやみ 津波でんでんこ

#### 第三章 綻びゆく日常

あの日に戻れたら つづく仮設暮らし  
夫婦のかたち 終の棲家の仮暮らし  
笑顔のかけに 被災者とは誰か

#### 第四章 仮設に残る

町がなくなる 仮設住宅の限界  
変わり続ける風景

#### 第五章 ためらう一歩

ぜいたく モノクロの桜  
お父さんのモミジ あの日あるとき

エピローグ

あとがき

#### □ 著者紹介

一九七八年、山口県長門市出身。龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻単位取得。現在、浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手。藤丸智雄著『ボランティア僧侶』（同文館出版）では、仮設住宅居室訪問活動の様子が紹介された。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 安部智海 著	
本体一、一〇〇円十税	
ことばの向こうがわ 震災の影 仮設の声	
ISBN: 978-4-8318-8180-9 C0015 Y3500E	
住所	お名前
お電話	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

社会 ・ 災害